

No.213

KANTOU

かんとう



特集／第58回 関東商組通常総会をWebで開催・5月20日
記念講演「過去・未来『20年とは』～変化の加速～」
(公財)古紙再生促進センター 川上正智専務理事

夏号

発行 関東製紙原料直納商工組合
2021.7.20 発行人 大久保信隆／編集人 斎藤大介

東京都台東区東上野1-17-4 坂田ビル
電話 03(3833)4105(代) <http://www.kantoushoso.com>

現場対策実施中



巻頭言

今年は梅雨が長い期間になるかもしれないと思いましたが、関東地方では例年より一週間遅れで6月14日に気象庁より梅雨入りが発表されました。そのあと一都三県の「緊急事態宣言」が解除となりましたが、その間も65歳以上のワクチン接種は存外にスムーズに言っているのではないのでしょうか？ また「人流」が人出をどう抑えるのか「オリンピックをどう行うか」と次々に国民的課題が出てきており

ます。G7が英国で開催され、「気候変動」「サプライチェーンの構築」「法人税率15%以上」「新型コロナウイルスの感染爆発(パンデミック)」に直面している中、ワクチンを世界に供給する事を決議しました。ワクチン供給行動によって百年に一度と言われる「未知との遭遇状況」による世界中の社会不安が解決に向けて動き始めました。

もう一つの話は中国の「海洋進出」「一帯一路政策」「民主化と弾圧」に対して協調して戦うことを誓い合ったことです。中国本位の一方的な経済、環境政策に私共古紙業界も本年初めから固形廃棄物の輸入規制により、一昨年から古紙購入がストップ状態になり、中国のナショナルソードに脅威を感じております。

そしてこのコロナ禍の中、日本は安心、安全な「東京オリンピック」を開催すると述べた。それに対して各国が協力して成功させようと参加した代表者達と誓い合った。菅総理大臣はG7各国の応援力に感謝して東京オリンピック開催を確信して帰国しました。オリンピックは観戦

「65%以上の利用率拡大と古紙持ち去り法案と見えない敵コロナとの戦い、そしてオリンピック」

関東製紙原料直納商工組合
理事長
大久保信隆

して応援できれば最高ですが、最高のアスリートの競技をテレビで見られるだけで素晴らしいですよ。ウイルス対策をみんなで一緒にやろうぜ。皆で成功させましょう。

仕事の話に戻しますと製紙連合会の発表よれば今年も紙の生産はずっと減っております。利用率65%でよいのでしょうか？ 本気で循環型社会構築、SDGsを推進していくのでしょうか？ 作る責任で70%利用する日本の製紙産業にする為に高い目標に向かっ

て努力しなければいけないのではないのでしょうか。私共原料商は不特定多数に販売された紙製品を良い原料として使っていただくように常に仕分けに努力し、集め過ぎた余剰分を海外に販売して需給バランスを取っております。日本の紙・板紙産業は自給自足出来る原料システムが出来上がっておりますが、もっと努力して下さい。大いなる願望で紙の生産が下げ止まると思います。もう一つ我々に20年来の汚点があります。それは「持ち去り問題」です。このたび資源リサイクル推進議員連盟の試案に賛成が得られれば取り締まりができ横取りがなくなります。新法が出来る事を期待しております。最後に荒川区では集団回収事業に携わる人は保育士、清掃業者とおなじエッセンシャルワーカーと認められ65歳以上の次にワクチン接種を受けられるようになりましたので他地区でも積極的に交渉してください。まだまだ我慢、我慢の一年です。頑張りましょう。

(2021.6.15記)

関東商組第58回通常総会 報告

関東商組第 58 回通常総会

「コロナ禍で WEB にて開催」

関東製紙原料直納商工組合（以下、関東商組）は令和3年5月20日（木）、組合事務所第58回通常総会をWEBにて開催した。総会は富所専務理事の司会で進行。今回は緊急事態宣言が発令されており、組合会議室にてWEB会議方式で開催することを報告。当日はWEB参加38名、会場参加7名合計45名が参加。来賓として経済産業省、古紙再生促進センター、日本製紙連合会、東京都中小企業団体中央会、関東資源回収組合連合会がWEBにて参加。総会は大久保信隆理事長が挨拶した後、司会者から組合員数115社に対して103社（89.6%）が参加。第1号議案から第5号議案のうち第4号議案のみ賛成102人反対1人。その他の議案は満場一致で賛成され全議案が過半数の賛成により原案通り可決された旨が報告された。総会終了後公益財団法人古紙再生促進センター川上正智専務理事による「過去・未来「20年とは」～変化の加速～」をテーマに講演が行われた。



大久保理事長



富所専務理事、大久保理事長
議決結果の読み上げ

【理事長挨拶】 大久保信隆・理事長

第58回の総会にあたりご挨拶申し上げます。
皆様におかれましては、ご多用の中、本総会にZOOMでご出席頂き誠にありがとうございます

ます。薫風爽やかな季節ですが、すでに梅雨空がきておりコロナウイルスと共に鬱陶しい気持ちかと存じます。皆様方には平素の組合活動にご支援とご協力を頂き感謝申し上げます。

内閣府による4月の月例経済報告では、新型

目次

巻頭言	1
関東商組第58回通常総会報告	2
講演会／過去・未来「20年とは」 ～変化の加速～	5
全原連第44回通常総会報告	12
関東商組理事会報告	13
三紙会定例会報告	16

三紙会 Tweet	19
業界人語	21
編集後記	21

【表紙写真】

ベトナムのハロン湾の夏。中国の古紙が輸入禁止となつてからは、年率10%の成長率のベトナムが日本からの古紙の受け皿に。豊かな水源と勤勉な人々に恵まれて、目にする風景も親しく見えます。

渉外広報・IT委員 須長 利行



大久保理事長、川上専務理事（古紙センター）

コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあると報告しております。景気は持ち直しの動きが続いているものの一部には弱さが見られます。先行きについては、感染拡大の防止策を講じる中で、各種政策の効果や海外政策の改善もあって緩やかに回復していくことが期待されています。しかし、感染拡大による景気の下振れリスクの高まりに十分注意する必要があります。また金融資本市場の変動等の影響にも注視する必要があると言っており、今年の1～3月のGDPがマイナス4.6%と発表されおり景気はK字回復の二極化の傾向にあるのが心配です。

我が関東商組では東京都に3度目の緊急事態宣言が出される中、製紙原料である古紙の回収をストップすることなく持続的に行い、三密対策などの安全対策をしっかりと取り感染拡大防止に努めてまいりました。

本年初めから中国が固体廃棄物の輸入禁止に踏み切り古紙の買入をゼロにしたことで我々は東南アジア諸国への販売に力を入れています。また製紙会社で段原紙の輸出を拡大し、会員各社の協力により期末で余剰すると予測していた在庫が一転して古紙需給のバランスが取れた状態で新年度を迎えることができました。32社の4月の三品在庫率は16.4%で適正在庫となりました。

我々は安定を望んでいますが最近の経済活動はスピードと変化が激しく、油断することなく



川上専務理事（古紙センター）

32社の在庫と製紙メーカーの消費・在庫状況を見守りながら適切に対応することが重要です。

コロナ禍の中、集団回収事業を中止するところが増えて、新聞と雑誌の回収量が減少している上に紙の生産が年々減少していることで、古紙の発生量が減少傾向にあり、今年は期末の集荷量が減少しました。

昨日の関東地区委員会での資料によると、令和2年の新聞の入荷実績は599千トンですが、これは入荷量が一番多かった平成25年と比べて58.26%と大幅に減少しています。インターネットやスマートフォンの普及により新聞購読者の減少で新聞古紙の発生が減少していることから新聞古紙の回収に時間と労力が掛かるため、行政回収や集団回収で過当競争に走らずに適正価格を維持して頂きたい。

年々紙製品の回収量は少なくなりますが、今年は一層自らが適正仕入、適正販売を行う時だと思います。製紙業界も引続き製品価格の適正化に尽力して頂き、古紙の国際マーケットを考えると古紙の購入価格に透明性を持たせることが重要と考えます。我が古紙業界では品質向上に一層力を入れることと、古紙の安定供給体制を維持することが我が組合の務めです。コロナ禍の中ではありますが、組合員が協力し合うことでより一層素晴らしい組織となり、今期もよかったと思える年になるに違いありません。

当組合にとっても、私、理事長としても、もう一つの課題は古紙持ち去り行為の撲滅です。

講演会 過去・未来「20年とは」～変化の加速～

公益財団法人 古紙再生促進センター 専務理事 川上正智

去る2021年5月20日に行われました、関東商組総会時の講演内容について抜粋、再編集の上、概要をまとめました。個人的な見解の部分が多く、また掲載した数字についても一つの傾向を見る上でのご参考までということでご容赦願います。また紙面都合上、パワーポイント資料が見にくくて恐縮ですが、ご関心のある方は関東商組HPからダウンロード可能との事ですのでご利用ください。

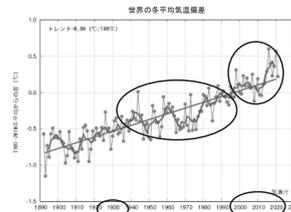
1. この20年を振り返る

今回の講演に際し、「今後の古紙業界の動向について」話して欲しいとのご依頼を頂戴したが、さてさて、私などには重くて正直困り果てた。一方で昨年約6年ぶりに業界に戻ってきた自分とすると、古紙センターの立場として一度、俯瞰した形で需給両業界を見つめ直し、また今後の課題や懸念等につき自分なりに頭を整理しなければならないとは思っていたので、この機会を利用してもらうこととした。しかしながら、どこから手をつけていいかもわからないし、はてさてと再び数日が過ぎたある日、数十年以上に亘り通っていた地元のクリーニング屋のおばさんが「もうこの店も畳むことになったよ、限界だ」と突然の通告。驚き、話を聞くとそもそも、およそ世の中のクリーニング店はこの20年以上、減り続ける一方なところに、コロナで止めを刺されたという。そこから家に帰り、改めて世の中の様々な業種を調べると、構造的な需要減退が続き、商品やサービスの差別化が困難で競争が激化、企業数が激減している業界が少なくないことを改めて認識。ある意味切りの良い過去20年、そして今後20年という視点で古紙業界を見てみようと思ったのが今回の講演をまとめるに至った発端です。

まずは日本の20年を大掴みに振り返る(資料①)。日本経済はほぼ20年間頭打ち、人口も大きくは変わらないがピークアウト。一方、働き盛りの生産年齢人口が僅か20年で約10%激減の一方、晩婚、高齢化進行で世帯数が25%激増している。国民の賃金は20年変わらず、物価も頭打ち、社会保険負担率は上昇し、生活実感は厳しさを増した20年だ。スマホのこの10年の保有率増は驚異的。一方世界人口は20年で1.3倍、世界GDPは2.5倍と改めて日本の停滞ぶりや相対的な存在感の低下が伺える。過去70年近くかけて0.5度上昇した地球の平均気温もこの20年で上昇ペースが増しているようで、一連の温暖化対策、カーボンニュートラルの流れも頷ける危機的状況だ。

1. この20年を振り返る

	GDP	人口	15～64才	65才以上	世帯数	賃金	社保負担	物価指数	スマホ所有率	世界の人口	世界のGDP
2000	535兆円	1.27億人	68.1%	17.4%	4,742万	306千円	13%	99	0	61億人	33.6兆ドル
2010	505兆円	1.28億人	63.8%	23.0%	5,336万	296千円	16%	96	9.7	70億人	66.1兆ドル
2020	539兆円	1.25億人	59.5%	28.4%	5,907万	308千円	18%	102	83.4	78億人	84.5兆ドル



- 2000 小淵閣内、森内閣
- 2001 米同時多発テロ
- 2002 サッカー日韓W杯
- 2003 自衛隊イラク派遣
- 2004 冬のソナタ
- 2005 JR福知山脱線
- 2006 ハンガチ選手
- 2007 郵政民営化
- 2008 リーマンショック
- 2009 民主党政権
- 2010 サッカー南アW杯
- 2011 東日本大震災
- 2012 自公政権奪還
- 2013 東京五輪決定
- 2014 田中カンキース
- 2015 ラグビー南ア勝利
- 2016 トランプ勝利
- 2017 森友・加計問題
- 2018 ゴーン逮捕
- 2019 W杯ラグビー8強
- 2020 コロナ禍

資料①

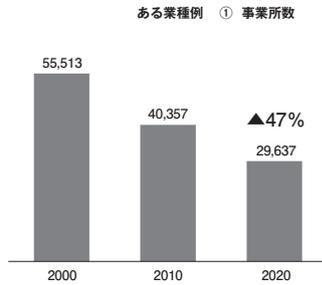
古紙再生促進センター

今回の話の参考として、まずは長期減退傾向が続く日本の業界例をいくつか挙げてみる。資

料②はガソリンスタンド (SS) 業界、資料③は冒頭申し上げたクリーニング業界だ。

1. この20年を振り返る

全国のガソリンスタンド (SS)



20年間で

需要 ▲23%
事業所 ▲47%

業界の課題・諸対策の一例

- ・構造的な需要減退が更に加速
- ・商品の差別化困難、価格競争激化
- ・経営層の高齢化、後継者不足
- ・自然淘汰による事業所減
- ・過疎地対策
- ・專業脱却、事業多角化、経営統合
- ・行政の支援を受けた関連施策

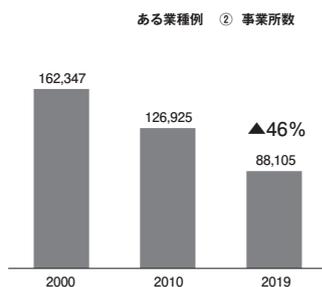
資料②

石油元売りの知人に聞くとガソリン需要は今後更に半分、1/3にもなるかもしれないが、SS事業の多角化や経営統合にも限界があり、今後は自然淘汰の時代にならざるを得ないかもしれず、特に地方の過疎地域は深刻だという。

クリーニング業界も、洗剤や洗濯機の進歩で家庭での洗濯が増えた上に、ビジネスカジュアル化、更にコロナでの在宅勤務が大きな影響を及ぼしている。SSもクリーニングも、今後はそこに長期的な人口減少という抗いきれない時代が待ち受けており、厳しさは増す一方であることは言うまでもない。

1. この20年を振り返る

全国のクリーニング店



20年間で

需要 ▲42%
事業所 ▲46%

業界の課題・諸対策の一例

- ・構造的な需要減退が更に加速
- ・新規参入なく転廃業が多い
- ・生活習慣の変化、節約志向
- ・小規模事業所が大半
- ・差別化が困難、価格競争激化
- ・経営層の高齢化、後継者不足
- ・原材料、ユーティリティコスト上昇
- ・サービス、技術の差別化

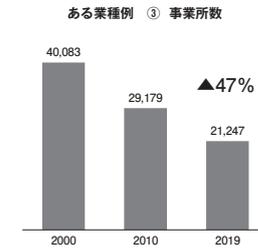
資料③

資料④は我々に身近な印刷所、紙卸商を取りまく状況だ。改めてこの20年間の減少度合いの大きさに厳しさをひしひしと感じる。

その一方、資料⑤をご覧ください。古紙業界です。全国のヤード数は20年で約40%弱増加したと見られる一方、増加の一途を辿った国内

1. この20年を振り返る

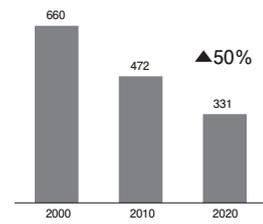
全国の印刷所・卸商



20年間で

需要 ▲39%
事業所 ▲47%

ある業種例 ④ 事業所数



20年間で

需要 ▲40%
事業所 ▲50%

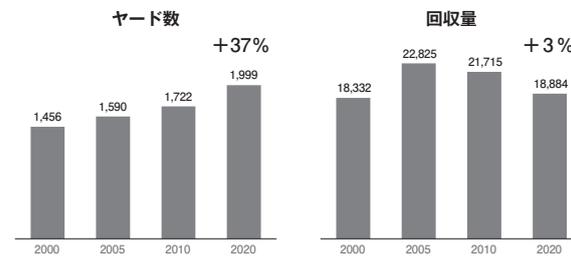
資料④

全国印刷・製本協会 古紙再生促進センター

回収量は2000年代前半にピークアウト、以後減少が続くが、大雑把には20年前に戻ったレベルで踏み止まったようなイメージではある。これだけ大変だ大変だという世の中で、需要も企業数も20年間で半減した業界に比べて、はるかに落ち込みが、ましだったとも言えなくはない。

1. この20年を振り返る

古紙業界 20年間で…



資料⑤

全国印刷・製本協会 古紙再生促進センター

回収量は20年前の振り出しに戻った感はあるが、ヤード数が高止まりした状況にあることは、後ほどお話しする今後の古紙需要減少を考えれば課題は明らかではないかと思う。

資料⑥は、少し観点を变えて、日米の紙・板紙生産の20年間の推移を見てみる。日米ともに紙生産の減少幅の大きさには改めて胸が痛む一方で、両国ともに段原紙の力強さを痛感する。また、両国の紙板紙生産比率をご覧ください。ご承知の通り日本は昨年紙・板紙生産比率が逆転したが、結果的には20年前の米国の姿でもある。

1. この20年を振り返る

日米 紙板紙・生産推移比較 20年を振り返る(千t)

年	印刷・情報	新聞	紙計	段原紙	板紙計	紙	板紙	古紙回収
2001	11,175	3,464	18,385	9,419	12,332	60	40	19,122
2005	11,503	3,720	18,901	9,311	12,051	61	39	22,320
2010	9,547	3,349	16,387	8,647	10,977	60	40	21,715
2015	8,384	2,985	14,826	9,187	11,398	57	43	21,400
2020	5,877	2,061	11,218	9,701	11,658	49	51	18,884
増減%	▲ 47.4	▲ 40.5	▲ 39.0	3.0	▲ 5.5			▲ 1.2

年	印刷・情報	新聞	紙計	段原紙	板紙計	紙	板紙	古紙回収
2001	20,911	5,770	38,196	33,070	42,465	47	53	42,911
2005	21,051	4,892	37,440	33,603	45,167	45	55	46,504
2010	17,777	3,111	32,213	31,954	43,055	43	57	46,751
2015	14,528	1,658	26,854	32,509	44,816	37	63	47,199
2020	8,327	434	20,007	34,529	46,527	30	70	42,460
増減%	▲ 60.2	▲ 92.5	▲ 47.6	4.4	9.6			▲ 1.1

資料⑥

20年間の米国洋紙生産の落ち込みの(内需ではない)幅が日本を上回る結果や、現在の米国の紙板紙比率を見ると、何かを物語っているとも言えなくはない。日本の未来の姿とも言えるのではないだろうか。また古紙回収量は日米ともに20年前のレベルに戻った感はあるが、紙の落ち込みが甚大であった一方、兎にも角にも板紙の底力に古紙が支えられたことは明らかである。

2. これからの20年を見通せるのか

資料⑦は、今から10年以上前(東日本大震災以前)に行われた、某・紙板紙内需予測に基づき試算したもので、当時から10年後の2020年内需を予測したもののだが、その減少数字があまりに悲観的すぎて、業界への影響が懸念されることもあり開示に至らなかったものである。

1. この20年を振り返る

① 約10年前に作成された非開示予測・経産省某データ(千t)

年	印刷・情報	新聞	家庭紙	紙計	段原紙	紙器他	板紙計	紙・板紙計
2009	10,130	3,414	1,804	16,834	8,377	2,649	11,026	27,860
2020	8,509	2,646	1,696	14,187	7,414	2,371	9,785	23,972
増減%	▲ 16.0	▲ 22.5	▲ 6.0	▲ 15.7	▲ 11.5	▲ 10.5	▲ 11.3	▲ 14.0

② 約10年が経過し、現実にはどうなったのか(千t)

年	印刷・情報	新聞	家庭紙	紙計	段原紙	紙器他	板紙計	紙・板紙計
2009	10,130	3,414	1,804	16,834	8,377	2,649	11,026	27,860
2020	6,400	2,091	2,044	11,749	8,822	1,774	11,187	22,937
増減%	▲ 36.8	▲ 38.8	13.3	▲ 30.2	5.3	▲ 33.0	1.5	▲ 17.7

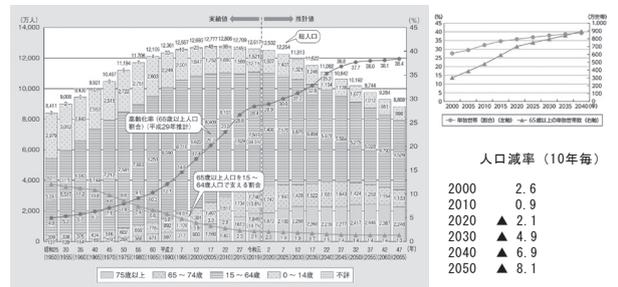
資料⑦

その後の10年でどうなったか対比してご覧頂きたい。あまりに悲観的過ぎるとした数字から更にその倍近くも減少した紙内需の落ち込みは、

振り返れば衝撃的である。一方で段原紙の大健闘が一層目につくが、古紙業界もこの流れに20年間下支えされたことが改めて確認できる。尚、何を申し上げたいかという、要は世の中の予測などというものの中々当たらないということです。

資料⑧は、よく目にする人口推移予測の一つ。過去20~30年以上に亘り高齢化が加速していることが再確認できる。この予測では、これからの20年間で約14%以上、30年間で22%、日本の人口が減少するというものだが様々な予測があり、もっと減少するという予測もある。尚、既にコロナ影響で日本の出生率は足元で低下傾向にあり、これが回復しない状況が続くと、更にこの数十年後の人口減少幅が拡大するシナリオも十分ありうるということである。また前述のように高齢化世帯を中心とする単身世帯数の増加も頭に置いておきたい。

2. これからの20年を見通せるのか



資料⑧

資料⑨は、これからの20年を考えるにあたって大切と思われることを、二つあげておきます。古紙の先行きを考えるにあたって、例外ではないと私は思う。一つは「今後の国内外メガトレンド」をキーワードとしてイメージすること。いずれも予測し難い潜在的な社会変動要素ではあるが、

社会や経済に大きな変動をもたらすメガトレンドを意識し、組織も個人も心構えを想定しておくことは大切と考える。古紙を考える時でもすぐに頭に浮かぶメガトレンドとして、人口減、

人手不足、過疎化、都市集中、カーボンニュートラル、循環経済（サーキュラーエコノミー）、AI・DX・自動化、中国の地政学リスク、そしてSDGs などなど、いくらかでもメガトレンドキーワードが当てはまる。

また、現状を発射台とした積上げ「フォアキャスト」思考ではなく、そうなるかもしれない10年後、20年後の姿をイメージし、そこから逆算した「バックキャスト」思考の計画づくりは、自分自身が意識していかなければならないと思っている。

2. これからの20年を見通せるのか

今後の国内外メガトレンド

予測し難い潜在的な社会変動要素

金融危機、パンデミック、大規模紛争、体制変革、気候変動、自動化、AIによる大量失業等

社会や経済に大きな変動をもたらすメガトレンドを認識し、組織も個人も事前緊急時の心構えを想定しておく

現状を発射台の積上げ「フォアキャスト」思考ではなく、そうなるかもしれない10年後、20年後の姿をイメージし、そこから逆算した「バックキャスト」思考の計画づくりを意識

技術革新の可能性

予測し難い技術革新のスピード

世界のネット接続機器数

2010年 125億台
2020年 500億台
2040年 予測 10兆台

通信世代の進化 約10年毎

1979年 1G ショルダーフォン
1993年 2G PHS
2001年 3G 写真やり取り
2010年 4G
2020年 5G (4Gの百倍速度)
2030年 6G (5Gの10~百倍)

日常生活含めて触れるもの全てネットの世界に?

自動運転、ドローン配達、AIスマートホーム、小売り無人店舗、AI・5G診療、再生医療、ゲーム診療がなげ、遠隔・放送の項目喪失、蓄電池、ハードウェア産業、ウェアラブルデバイス、シニアリングサービス、人不足ロボット対応、などなど

⑨ 経産省 古紙再生促進センター

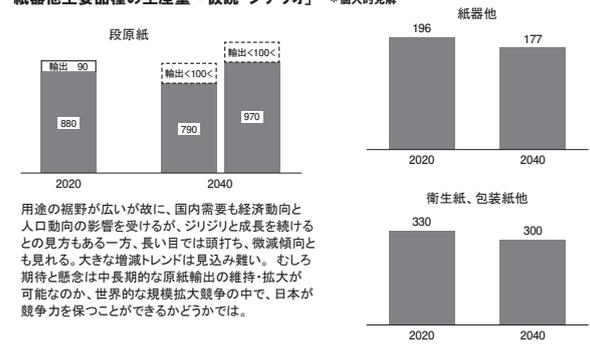
資料⑨

もう一つ、古紙の中長期を考える時に欠かせないのが「技術革新の可能性」だと思う。世の中は既に予測し難い技術革新のスピードで走っている。読んだ話だが世界のネット接続機器数は2010年に125億台、2020年は500億台、2040年には10兆台に達するそうだ。即ちチップ化されたセンサーを通じて情報が我々の身の回りで24時間・365日、日常生活含めて触れるもの全て、ネットの世界に繋がりが膨大なデータが世界を飛び交うことは確実だと。通信世代の進化は約10年毎だそうだが、2020年5G（4Gの百倍速度）も2030年には6G（5Gの10～百倍）となり、2時間映画のダウンロードは瞬きの間に完結する時代が10年後だそうである。後ほどの話にも繋がるが、我々の発想レベルの延長上でフォアキャストできるような今後20年と言えるのだろうか。あてにならない直感だが、今後の世の中の変化速度は過去の経験から予測するレベルを超えるものと感じる。

資料⑩、⑪は「全くの個人的見解の紙板紙主要品種・20年後の生産量予測」である。半ばエイヤと屁理屈の結果ですのご容赦ください。ベースとなる考えは既に広く業界で言われていることばかりで目新しい点はないが、紙面の限りがあるので詳細説明は割愛する。逆に是非皆さんにご意見を聞きたいものです。

2. これからの20年を見通せるのか

紙器他主要品種の生産量「仮説・シナリオ」※個人的見解



用途の裾野が広いが故に、国内需要も経済動向と人口動向の影響を受けるが、ジリジリと成長を続けるとの見方もある一方、長い目では頭打ち、微減傾向とも見れる。大きな増減トレンドは見込み難い。むしろ期待と懸念は中長期的な原紙輸出の維持・拡大が可能なのか、世界的な規模拡大競争の中で、日本が競争力を保つことができるかどうかでは。

資料⑩

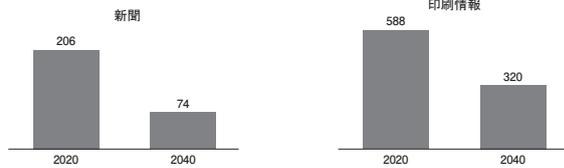
（段原紙）用途の裾野が広く、食料、飲料、青果物等で約6割程度が故に、国内需要も経済動向と人口動向の影響を受ける。ジリジリと成長を続けるとの見方もある一方、長い目では頭打ち、微減傾向とも見れる。大きな増減トレンドは見込み難く、年に増減±0.5%程度で仮に数字を置いた。むしろ期待と懸念は中長期的な原紙輸出の維持・拡大が可能なのか、世界的な規模拡大競争の中で、日本が原紙輸出競争力を保つことができるかどうかでは。

（紙器・包装・衛生紙他）インバウンド復活に期待だが年に約0.5%減少ペース、人口減少率と平行で見た。白板もご承知の通り、菓子・食品・飲料・医薬・化粧品等で需要の6割以上を占める訳で劇的な増減はどうだろうか？ 家庭紙も同様だが古紙物家庭紙については、後述の通り原料確保含めてその動向を注意していく必要がある。

（印刷・情報）塗工紙はDX、サービス提供の非接触化が加速、部数枚数減、判型縮小が続く。

2. これからの20年を見通せるのか

主要品種の生産量「仮説・シナリオ」 *個人的見解



夕刊、残紙の減少、購読率の低い若年層の増加等々により、一層の減少加速が見込まれる。

塗工紙はコロナ禍を背景としてDX、サービス提供の非接触化が加速、集客力タログ、チラシ等、販促用商業印刷は、部数減、枚数減、判型縮小等が続く。上級紙は学習参考書など分野もデジタル化の動きが加速。中・下級印刷紙は主たる需要先である出版電子化がコミック中心に更に加速。ある時期には一定の歯止めがかかるとの見方もあるが、情報通信技術・端末デバイスの進化により、更に減少が早まる可能性もある。

(参考)

年齢	新聞を読む比率%	人口比%
10~	3.5	8.75
20~	5.5	9.85
30~	11.0	11.10
40~	22.0	14.50
50~	39.0	13.22
60~	54.5	12.49

資料①

情報通信技術センター

上級紙は学習参考書などデジタル化が進み、中・下級印刷紙は出版電子化がコミック中心に更に加速。総じて3%/年ペース程度の減少で見た。いずれ一定の歯止めがかかるとの見方もあるものの、情報通信技術・端末デバイスの進化により更に減少が早まる可能性が高いと思う。洋紙向け全国ツインワイヤー、オントップマシン90台、長網等その他中小型464台の停機、品種転抄の行方も注目。

(新聞) 夕刊、残紙の減少、購読層の薄い若年層の経年化で減少が加速、仮に5%/年減少ペースで見たが、この分野も情報通信技術・端末デバイスの進化により更に減少が早まる可能性も。また、現在の若年層の新聞に触れる比率が著しく低下している調査からみても、中長期的にもその年齢層が持ち上がり、逆に現在新聞購読を下支える年齢層と入れ替わる時点で更に階段状に需要への影響が生じると思われる。

以上の紙・板紙の生産量を前提とした場合の古紙国内消費量を資料⑫で想定。品種ごとの古紙消費原単位から計算上では2020年比で約▲400万t~▲100万tともなるが、前述の通り紙向けでは情報通信技術・端末デバイスの進化と消費世代層の変化により減少が更に加速する可能性は否定できず、更に減少する余地もある。尚、紙向けの昨年の用途別古紙消費は新聞49%、印刷26%、衛生23%等。

板紙向け古紙消費はいずれにせよ微増・微減傾向か。しかし輸出原紙動向次第では更なる増加、あるいは頭打ちも？昨年の用途別古紙消費は段原紙86%、紙器9%等。昨年段原紙生産の約10%を占めた段原紙輸出の中長期的な動向が今後の重要な変動要素。昨年の古紙輸出約3百万tの中長期的な立ち位置も期待と懸念が混在する。世界的な需要増加は今後も底堅い中、日本が段原紙輸出の競争力を維持できるかどうか。原紙輸出減の場合、古紙輸出の競争力が問われる。

2. これからの20年を見通せるのか

古紙の「仮説・シナリオ」 *個人的見解

① 古紙消費原単位 (古紙消費量÷製品生産量)

新聞	0.97
印刷・情報	0.18
衛生・包装他	0.31
段原紙	1.03
紙器他	0.84

洋紙製需要の長期的な減少には一定の歯止めがかかるとの見方もあるが、情報通信技術・端末デバイスの進化と消費世代層の変化により減少が加速する可能性は否定できない。昨年の用途別古紙消費は、新聞49%印刷26%衛生23%等。

板紙製品の国内需要については、人口減影響の一方、高齢化世帯増による新規需要を期待する見方もあるが、いずれにせよ家増・家減傾向か、輸出原紙動向次第では頭打ちも？昨年の用途別古紙消費は、段原紙86% 紙器9%等。

一方、昨年段原紙生産の約10%を占めた段原紙輸出の中長期的な動向が、今後の重要な変動要素。世界的な需要増加は今後も底堅い中、日本が段原紙輸出の競争力を維持できるかどうか、原紙輸出減の場合、古紙輸出の競争力が問われる。

洋紙由来、あるいは所謂、上物古紙の更なる減少による白板、家庭紙向け古紙ニーズへの影響も懸念材料。また、中長期的な行政回収、特に地方での古紙集荷基盤動向も要注視。

② 古紙消費量 (百万t)

	2020年		2040年	
	消費量	構成	消費量	構成
紙向け	4.1	26%	2.2	18~15%
板紙向け	11.6	74%	9.7~12.5	82~85%
計	15.7		11.9~14.7	

③ 古紙輸出量 (百万t)

	2020年	2040年
段ボール	1.9	??
新聞	0.4	??
雑誌他	0.9	??
計	3.2	??

資料⑫

情報通信技術センター

また、洋紙由来の古紙、あるいは所謂、上物古紙の更なる減少による白板、家庭紙向け古紙ニーズへの影響も懸念材料。また中長期的な行政回収や集団回収、特に地方での古紙集荷基盤動向は要注視。いずれにせよ現状の用途別消費比率、紙向け25%、板紙向け75%の比率は大きく変化、板紙向けは長期的に85%以上になっていく傾向かと思う。

3. いくつかの示唆

以下は私自身が自問している、最近世の中で聞きしたいいくつかの気になるコメントや示唆であるが、古紙センター専務理事として意識していきたいと思っている。ご参考まで。

某・鉄鋼メーカー社長談

「将来を見越したときに感じる懸念は、大体現実になるものだ。すでに問題を認識できている

なら、先手を打たねばならない。最悪の事態に陥ってからでは遅い。問題を先送りすれば隙が生じ、身動きが取れなくなってしまう。

某・IT 企業経営者談

「今の時代は下りのエスカレーターを昇っていくような時代だ。つまり、その場に漫然と止まればズルズルと下がっていき、同じ速度でいけばせいぜい現状維持、昇っていくにはそれ以上のスピードの成長と知恵が必要となる。

某・業界ウオッチャー談（機関投資家）

「誰かが回収、選別、製品化しないとリサイクルは成り立たない。古紙も製品もコストを含めライフセキュリティー、SDGsといった文言で語られるべき。輸出の芝が青く見えても、そもそも日本の芝はどうか、国内事業にいかに向き合っているかに重きを置くべきでは。

某・〇〇省諮問委員会（某業界の振興方策提言）

「現状肯定の「家業」経営の延長線上でゆっくりと事業基盤を喪失する「ゆでガエル・緩慢な死シナリオ」に陥りかねない。「企業」経営としての成長と底上げが求められる。悪貨が良貨を駆逐する業界になってはならない。

れた通り、差別化の難しい業界、需要縮小に悩む様々な国内業界は打開策を模索してきているが、即効性のある決定打は無いように感じる。月並みだが、やはり基本は合理化、差別化、多角化、提携M&Aへの割り切りや、危機意識の持ち方、スピード感が、いずれの将来における差に繋がるのではないか。当たり前前を当たり前前にやるのが難しいのは、いずれの世界でも共通だ。またこれまでの業界プレイヤー以外も意識する必要があるとも感ずる。

一方、アジアを中心とした長期に及ぶ古紙需要の伸びは期待できるが、国内メーカー需要（含・輸出原紙）あつての古紙であり、メーカー、問屋一体となった古紙の戦略思考に期待したい。世界的な中国の影響力の拡大に対しても、視野を広く、業界の知恵により対応し、持続的な業界発展を強く望みます。

その為にも持続的な社会形成に向けて重要な立ち位置にある古紙業界が、SDGsを念頭に各企業さんの一層の底上げに向けて、人材確保・育成、地域との共生をベースに事業基盤を強化し、更なるチャンス拡大を通じての成長に繋げて戴ければと思います。古紙センターも需給両業界始め、紙リサイクルのステークホルダーとの橋渡しに努力し、少しでもお役に立てれば幸いです。

4. 敢えてまとめるならば

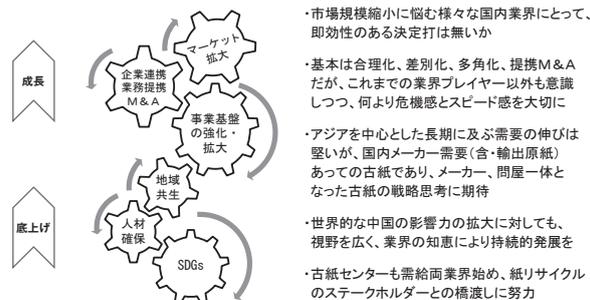
以上、取り留めの無い感じの話ばかりで恐縮ながら一旦、話をまとめたい。資料⑬冒頭に触

5. もっと知ってもらう、もっと活用してもらう

尚、この機会に古紙センター運営についても少々申し上げたい。我が国の紙リサイクルが大きな転換期にある中、センター発足から半世紀弱に及ぶ時間の経過に伴い、センターに対する価値観差や認識度合い差を感じる。今後、全国各地の関係者にも改めて、センター運営に関するお話をさせて頂く予定です。その中立的な立ち位置や、個別企業では実現できない対応が求められる事を再認識、新たな視点からも事業

4. 敢えてまとめるならば

誇るべき古紙業界の持続的発展を願って



資料⑬

古紙センター

遂行し、ステークホルダーの実状や課題も踏まえ一層の情報発信や事業展開を心掛けます。

「もう古紙センター」を目指してまいります。

現在、賛助会員数はメーカー44社、直納問屋・商社等653社(約1,000ヤード)内、各地区委員会277社・工場。センター会員の対回收量に占める比率は推定約70%。各委員会(全国8地区委、業務委、輸出委、家庭紙委、財務委等)の運営を通じ、各事業(品質安定対策、広報、調査研究、紙リサイクル安定化対策、8地区委活動)を展開中。

センターは長年培ってきた「有形無形のリソース」に横軸を通し、新たな気づきと機会の創出を目指します。将来的には賛助会員やステークホルダーのご意見をお聞きすることも視野に入れ、持続的なセンター事業改善サイクルの姿を模索、「もっと知ってもらう、もっと活用してもらう」



また、持続可能な社会への貢献を是としたSDGsは規模の大小を問わず、夫々のレベルで意識し参画していくべき活動であり。紙リサイクルはその真ん中にあります。古紙センターはSDGsを通じた紙リサイクルや意義についても啓発活動を行ってまいります。引き続きよろしくお祈りいたします。

関東製紙原料直納商工組合 各位

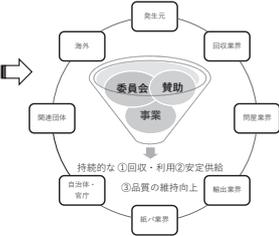
「もっと知ってもらう、もっと活用してもらうために」

2021年5月20日
公益財団法人 古紙再生促進センター
専務理事 川上

我が国の紙リサイクル構造が大きな転換期の渦中にある中、古紙センター発足から半世紀弱に及ぶ時間の経過に伴い、関係者間のセンターに対する価値観や認識度合い差を感じる。この機会を捉えて思うところを、全国の各地区関係者にお話させて頂きたい。また個々の利害を超えた中立的な立ち位置や、個別企業では実現できない対応が求められる事を再認識、新たな視点からも事業を遂行、ステークホルダーの実状や課題も踏まえつつ、一層の迅速な情報発信や事業展開を心掛けていきます。

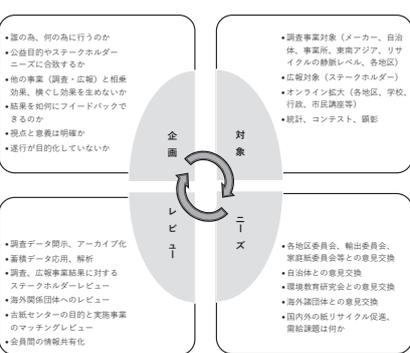
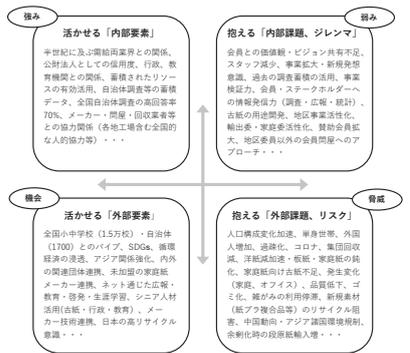
- 1.センター概要
① 賛助会員数
メーカー44社
直納問屋・商社等653社(内1,000ヤード)
(内、各地区委員会277社・工場)
② センターカバー率(推定)
対回收量70% 対消費量90%
③ 各委員会(全国8地区委、業務委、輸出委、家庭紙委、財務委等)
④ 事業(品質安定対策、広報、調査研究、紙リサイクル安定化対策、8地区委活動)

- 2.主なステークホルダー
① 発生源(住民、子供、事業者、ビル)
② 回収業界(資源、廃棄物回収処理)
③ 問屋業界
④ 輸出業界(商社)
⑤ 紙パルプ業界(洋紙、板紙、家庭紙、印刷加工等)
⑥ 自治体・省庁(自治体、経産省、教育機関)
⑦ 関連団体(紙連連、全産連、日産連、産紙協、バック連、日印産連、集団回収等)
⑧ 海外(アジア等の業界、政府等)



3.センター運営課題
自らの弱みを改善の糸口に、また自らコントロールできないリスクは実体を認識し、少しでもその影響の軽減に繋げる工夫を心掛けたい。一方で強みは更なる強みに繋げ、機会をフル活用することで、センターが長年に亘り培ってきた「有形無形のリソース」に有機的な横軸を通し新たな気づきと機会の創出を目指したい。

4.「目指したい」各事業の展開・フィードバックイメージ
調査研究事業、広報啓発事業が大きくなるが、単年度での各事業を積み重ねていく中、将来的には節目節目での賛助会員やステークホルダーのご意見をお聞きすることも視野に入れ、「センター運営のあるべき姿」を継続・反復的に把握し、持続的なセンター事業改善サイクルの姿を模索したい。



(参考) 2021年度 主要事業 (抜粋)

- 調査研究事業
古紙発生構造の変化や地方自治体における リサイクル変化につき調査を行い海外では中国、東南アジアとの交流や調査事業を見直しする。
(国内調査)
○ オフィス発生古紙実態調査
コロナ禍におけるオフィスや事業所のリサイクル状況調査
○ 地方自治体紙リサイクル施策調査
全市区町村(約1,700)に対しコロナ禍における、紙リサイクル変化(行政、集団回収等)、雑がみ回収実態について調査、意見検討
○ 新技術に対応した紙リサイクル調査研究(紙・プラ複合素材動向)
○ 外部委員会への協力(経産省のインド・紙リサイクル構築支援事業)
(海外調査)
ポスト中国対策として、東南アジア諸国との新たな情報交流を推進する。
○ オンライン・プロモーションセミナー
ベトナム、インドネシア等の製紙業界団体、メーカー対象。現地進出の日系メーカーとも意見・情報交換
○ 各国の輸入環境規制情報や品質ニーズ等調査、各国へ統計データ提供
○ アセアン紙パルプ会議 (FAPPI) 等における、意見交換を模索

- 広報啓発事業 他
ウイズコロナにおける新たなオンライン形式事業により、従来カバー困難だった地域、対象先での事業拡大も進める。
○ 紙リサイクル研修会(地方自治体)、紙リサイクル出前授業(小中学校)
紙リサイクルセミナー、紙リサイクルコンテスト(小中学校)
○ 集団回収顕彰(コロナ影響を踏まえ弾力的に)
○ 自治体向け古紙ハンドブック、禁忌品見本ツール発行検討
○ 会員向けの定期的なオンラインセミナー、SDGs啓発活動開始、会報

- 紙の資源リサイクル安定化対策事業
回収量・消費量の前提で持続的な回収システム維持は社会的に大きな課題。人口・所得構造変化、都市集中・地方過疎化、デジタル化、世界的な循環(サーキュラー)経済推進の流れを踏まえ、中長期的な課題整理を開始
○ 雑誌(与雑がみ)余剰を想定した対策立案
アジア環境規制強化に伴う、雑がみ品質の輸出停滞リスク、対応検討

全原連第44回通常総会 報告

全原連第44回通常総会

全国製紙原料商工組合連合会（以下、全原連）は令和3年5月27日（木）に第44回通常総会を開催した。今回はコロナ禍で緊急事態宣言が発出されており、組合事務所を拠点としてWEBで開催された。

総会は富所専務理事の司会で進行。栗原正雄理事長（栗原紙材）が挨拶した後、司会から当日WEB出席33名本人出席6名合計39名の出席であり総会が成立した旨を報告。尚来賓として経済産業省、古紙促進センター、日本製紙連合会、日本再生資源事業協同組合連合会、全国中小企業団体中央会がWEBで参加した。続いて司会から書面にて既に配布した第1号議案から第4号議案までの議案が満場一致で承認された報告と追加議案として北海道商組から澤田義文氏（苫小牧協和サービス）の理事の辞任と上川原昭氏（上川原商店）の理事就任が可決された。

続いて各単組理事長懇談会を開催。「雑がみ混じりの雑誌古紙」の製紙原料古紙としての利用促進に向けて」を主なテーマとして討議。その他「古紙持ち去り禁止に係る新法に関する動き」「FSC CoC 認証に関する国内委員会の国際会議移行に伴う全原連の関わり」について各単組の考えを確認した。

【理事長挨拶】 栗原正雄・理事長（栗原紙材）

皆様方におかれては何かとお忙しい中、第44回通常総会に出席賜り誠に有難うございます。

関東地区は梅雨入りしていませんが毎日の様に雨が降って鬱陶しい日が続いています。コロナウイルスの感染が蔓延している中で気持ちが落ち込みますが、本日の総会が皆様方のご協力が無事に終了させたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。

本日の総会の議題は事前に書面にて議決を頂いております。前年度はコロナ禍で通常の組合事業が展開できませんでした。一日も早くコロナウイルスの感染が解消することを願っています。



栗原理事長



Web参加者



総会の模様

関東商組理事会報告

令和2年度 第11回 理事会報告

開催：令和3年3月23日(火)
15時～16時30分
ホテルラングウッド 5階 光の間
出席状況：出席…24名(理事22名、監事2名)

1. 古紙持ち去り関係

(1) GPS 追跡調査実施状況
実施なし(2月理事会から本理事会の間)

2. 各支部市況報告

		前月末在庫状況	特記事項
東京都	東支部		
	西支部	ランニング	4月役員会予定
	多摩支部	ランニング	
神奈川県支部	東部	ランニング	
	西部		
千葉県支部		ランニング	
埼玉県支部	北部	ランニング	3/16 役員会
	西部		
群馬県支部		ランニング	
茨城県支部			4/14 市況交換会
栃木県支部		ランニング	

3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況

4月積み段ボール古紙は台湾向けのみ実施。
マレーシア向け、国内向けについては未定。

4. 組合員名簿の作成

12月の理事会での決定を元に作成を進めている。

5. 通常総会(5月20日開催予定)の開催方法

5/20開催予定の通常総会は新型コロナウイルスの感染状況に鑑み、下記の通り承認された。

- ・議決方法は書面決議とする。
- ・拠点会場はホテルラングウッドとし、出席者の範囲は本社所在地が東京23区の組合員として50名程度とする。

・理事長挨拶、講演会を行い、リモートにて同時に放映する。

6. 古紙商品化適格事業所認定申請

1社1事業所の申請があり承認された。

7. 各会議報告

- (1) 総務財務委員会(3月18日開催)
2月までの収支を確認し、来年度予算について協議した。
2023年の組合設立60周年に向けての積立金を検討している。
- (2) 正副理事長会(3月18日開催)
- (3) 総合運営委員会(3月18日開催)

8. 近代化推進委員会報告

- (1) 経営革新委員会(3月10日開催)
2月の段ボール原紙速報2021年製紙需要予測を確認して意見を交換した。
品質リーフレットの作成について安全防災委員会のポスター等を作成している中、災防と打合せをし、見積依頼をかけた。
- (2) 安全防災委員会
安全ポスター、リーフレットの送付は3月末を想定している。
- (3) 需給委員会(2月24日開催)
輸出価格が徐々に上昇しているが仕入価格については慎重に検討する必要があると報告があった。
2021年古紙需給予測として段原紙、白板の輸出から、消費は増えていくと見ている。
- (4) 渉外広報・IT委員会
・IT活用部会(3月16日開催)
HPリニューアルに向けて掲示するコンテンツの再確認を行った、6月頃に完成予定。
委員の交代があり、田中委員(栗原紙材

(株) に代わり藤村氏 (栗原紙材株) が就任した。

- ・ かんとう編集部会 (3月16日開催)
4/20発行予定の春号の校正会議を行った。
7/20発行予定の夏号の特集記事の検討会議を行った。
新川委員の退任に伴い新たに広報委員の募集を行う。

9. 三紙会報告

	2月	
	前月比	前年比
段ボール	94.9%	97.0%
新聞	96.0%	86.1%
雑誌	95.8%	91.4%

10. その他

3/23に資源リサイクル推進議員連盟の総会が行われ、栗原全原連理事長が出席し報告があった。

各種統計資料

1. 関東商組 32社古紙在庫月別報告書 (2021年2月)
2. 財務省貿易統計 古紙輸出まとめ (2021年2月)
3. 全原連 各地区古紙在庫月別報告書 (2021年1月)

◎次回開催：令和3年4月23日(金) 15時～
ホテルラングウッド (予定)

令和3年度 第1回 理事会報告

開催：令和3年4月23日(金)
15時～16時30分
ホテルラングウッド 2階 孔雀の間
出席状況：出席…25名 (理事23名、監事2名)

1. 古紙持ち去り関係
 - (1) GPS 追跡調査実施状況
実施なし (3月理事会から本理事会の間)
2. 各支部市況報告

		前月末在庫状況	特記事項
東京都	東支部	ランニング	
	西支部		
	多摩支部		4/6 支部会
神奈川県支部	東部		6月役員会
	西部		
千葉県支部			4/14 支部会
埼玉県支部	西部		5/18 役員会
	京浜		
群馬県支部			
茨城県支部			6/17 市況交換会
栃木県支部		ランニング	

3. 段ボール古紙需給調整事業の実施状況
5月積み段ボール古紙は台湾向けのみ実施。引き続きの協力をお願いした。
4. 雑がみの取扱いに関する全原連への要請
雑がみを製紙原料古紙として流通させるために、雑がみが置かれている状況について自治体及び製紙業界と認識を共有し、具体的な対策に向けての文書を出すことが承認された。
5. 第58期事業報告書
事業報告・決算報告が提示され、承認された。
6. 通常総会次第 (5月20日開催予定)
 1. 理事長挨拶 15:00-
 2. 講演会 15:30-16:30
講師 (公財)古紙再生促進センター
川上正智専務理事
テーマ 「古紙業界の今後目指すべき方向」 (仮題)
 3. 議案議決方法 書面決議
開催方法 リモート会議と併用、現地参加者50名程度
録画をし、後日HPへ掲載予定。
7. 組合創立60周年記念事業計画
令和5(2023)年に組合創立60周年を迎える。記念式典 (通常総会と同時開催)、60周年記念誌作成、講演会が記念事業として承認された。
また、実行委員会を設置することが決まった。

8. 古紙持ち去り行為禁止法令資源R推進議員連盟試案への対応

廃棄物の処理及び清掃に関する法律の一部を改正する法律案骨子案が提示され、関東商組として異論がないことを全原連へ伝えることが承認された。

9. 各会議報告

(1) 総務財務委員会 (4月15日開催)

決算報告について説明をした。剰余金処分案として60周年記念事業に向けての積立金を総会に提示することの説明があった。

(2) 正副理事長会 (4月15日開催)

(3) 総合運営委員会 (4月15日開催)

10. 近代化推進委員会報告

(1) 経営革新委員会 (4月9日開催)

品質リーフレット作成について図案を検討し打合せをした。連休明けに最終の図案が出来る予定。

古紙リサイクルアドバイザーについてはスケジュール設定を組合員へ案内をする。

(2) 安全防災委員会

4月は安全月間になる、体調管理に気を付けて欲しいとの話があった。

(3) 需給委員会 (3月25日開催)

国際マーケット調査事業の5月積みは4/26の見積もり合せで決定する。

(4) 渉外広報・IT委員会

・IT活用部会 (4月5日開催)

HPリニューアルに向けて掲示するコンテンツの再確認を行った。更新コンテンツ絞り込みの為に選定素案を作成する。

・かんとう編集部会

11. 三紙会報告 (4月19日開催)

	3月	
	前月比	前年比
段ボール	114.5%	101.6%
新聞	110.7%	92.6%
雑誌	127.6%	91.9%

12. その他

各種統計資料

1. 関東商組 32社古紙在庫月別報告書 (2021年3月)

2. 財務省貿易統計 古紙輸出まとめ (2021年3月)

3. 全原連 各地区古紙在庫月別報告書 (2021年2月)

◎次回開催：令和3年6月24日(金) 15時～
ホテルラングウッド (予定)

新聞雑誌選別、さらに革新。

紐切装置付選別コンベヤーライン

ヤードスペースに合わせ、自由にレイアウト。

営業品目

- 各種破袋装置
- 古紙梱包機投入用コンベヤー
- 空カン・空ビン選別コンベヤーライン
- 各種シュレッダー投入用コンベヤー
- 再生資源産業用各種コンベヤー
- 各種省力機械設計・制作



株式会社 拓己技研

〒444-0937 愛知県岡崎市島坂町字川田5番地3
TEL (0564)64-3692 FAX (0564)64-3693

デジタルロードセル式トラックスケール

高精度・低価格・短納期 5t～100t 各種計量管理システム

鎌長製衡株式会社

<http://www.kamacho.co.jp>

- 本社・工場 TEL(087)845-1111(代) FAX(087)845-7442
- 東京支店 TEL(03)3243-2080(代) FAX(03)3243-2081
- 大阪支店 TEL(06)6339-0131(代) FAX(06)6339-0139
- 名古屋支店 TEL(052)586-1451(代) FAX(052)586-1467
- 九州支店 TEL(092)281-5328(代) FAX(092)281-3822
- 中四国支店 TEL(087)845-1140(代) FAX(087)845-7442

三 紙 会 報 告

3 月 度 定 例 会

日 時：令和3年3月22日(月)
 15時30分～17時00分
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
 幹 事：小池 茂男・(株)小池商店
 大山 巧・(株)斎藤商店
 報告者：相田 寛文・(株)丸興佐野錦一商店

【令和3年2月

裾物主要三品仕入実績報告 (35社)】

[段ボール] 前月比 94.9% 前年比 97.0%
 [新聞] 前月比 96.0% 前年比 86.1%
 [雑誌] 前月比 95.8% 前年比 91.4%
 [総括] 3品ともに前年比マイナス。コロナ禍の影響が、古紙の発生については去年の3月頃から出始めたので、1年が経過した3月以降の実績がどうなるのか要注視。

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表
 〈平均単価〉段ボール…6.11円、新聞…8.14円、
 雑誌…2.91円

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 880 前月比 +120
 [LBKP] \$ 価格 590～690 前月比 +50～+70
 [総括] 昨年末から値上がりが続いているが、2月になっても価格上昇の動きは衰えることなく、更に急騰した。この理由としては、海上コンテナ不足や、中国経済の回復による実需の増加とパルプの先高観を見越した投機的な購入増等、様々な要因が重なった結果、今回の価格急騰につながったと考えられる。中国

においては、紙製品価格の値上げがある程度通っており、パルプ価格の急騰に対しユーザーからの大きな抵抗は見られていない。今後の市況についても、サプライヤーの多くは春季に長期休転を計画しているために暫く需給バランスが緩むことはないと考えられている。

(2) 上物市況報告

[家庭紙] 例年の冬よりは需要は弱い。製品の売れ行きが好調とは言えないが、発生減が顕著であり原料不足の可能性が考えられる。緊急事態宣言の発令により、スーパーなどの店頭品と業務用ロールで明暗が分かれている。

[白板] 製品需要が高まる時期であるが、コロナ起因による経済活動の鈍化で大きく長い低迷が続いている。しばらく低迷継続になる可能性が高い。

[総括] 中国の経済回復と古紙輸入停止、多くのパルプ工場での休転集中などの影響でパルプ価格が高騰している。コロナの感染状況次第ではあるが、外販パルプの好調が続けば古紙単価にも影響し始める可能性がある。

- 研究委員会：令和3年3月度の新聞・チラシ重量調査の協力依頼。
- 財務委員会：裾物三品の季節変動係数の提出依頼。

次回の三紙会は【4月19日(月)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入平均単価報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会報告

4 月 度 定 例 会

日 時：令和3年4月19日(月)
 15時30分～17時00分
 場 所：関東製紙原料直納商工組合 会議室
 幹 事：持永 毅・三弘紙業(株)
 木ノ下 知宏・(株)須賀
 報告者：川嶋 秀明・(株)ナコジ

【令和3年3月】

裾物主要三品仕入実績報告 (35社)】

[段ボール] 前月比 114.5% 前年比 101.6%

[新聞] 前月比 110.7% 前年比 92.6%

[雑誌] 前月比 127.6% 前年比 91.9%

[総括] 3品とも季節要因と日数の関係もあり、前月比増。段ボールについては、緊急事態宣言が解除された月後半から発生が増えた感がある。前年比の増減については、コロナ禍による社会情勢の変化により、比較検討がしづらい。

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

平均単価：段ボール…6.22円、新聞…8.29円、雑誌…2.94円

[総括] 徐々に仕入単価が上がり傾向にある。新規ヤードの影響を受けた地域においては一部高値あり。

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) 上物市況報告

[全体の状況] パルプは中国の景気浮揚策と古紙輸入停止の影響で高止まりしており、今後コロナの感染状況次第ではあるが、外販パルプの好調が続けば古紙単価にも影響し始める可能性がある。

[家庭紙] 緊急事態宣言の発令によりGOTO需要が無くなり、業務用ロールの需要が激減。巣ごもり需要も不発でスーパーなどの量販ロールも需要は減退傾向。古紙発生減が顕著だが、生産も非常に悪いため低位でバランス。今後、業務用・スーパー関連のどちらも全体的に弱含む可能性あり。機密や難処理系古紙は業務用ロール比率が高いため使用減速。

[白板] コロナの影響により国内需要は引き続き厳しい状況。一方で中国需要に引きずられて製品輸出が順調。価格は安いが徐々に増加傾向。

●広報委員会：三紙会 Tweet の原稿執筆依頼。

●研究委員会：3月度新聞・チラシ重量調査の結果報告。

●その他：当番幹事より、令和2年度(第37期)三紙会総会開催(書面議決)についての説明と資料配布。

次回の三紙会は【5月21日(金)15時30分～】とする。活動内容の予定は以下の通り。

○裾物三品仕入実績報告

○ブロック別仕入平均単価報告

○各委員会報告

5 月 度 定 例 会

幹事：後藤 和則・(株)高岡

富澤 進一・(株)富澤

報告者：伊藤 弘幸・(株)二見

※2021年5月21日(金)開催予定でしたが、緊急事態宣言を受け、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、資料配布のみ

【令和3年4月】

裾物主要三品仕入実績報告 (35社)】

[段ボール] 前月比 96.7% 前年比 102.1%

[新聞] 前月比 95.9% 前年比 96.4%

[雑誌] 前月比 96.3% 前年比 89.7%

【ブロック別仕入平均単価報告】

○各地区発表

〈平均単価〉段ボール…6.75円、新聞…8.33円、雑誌…3.10円

【各委員会活動報告】

●業務委員会

(1) パルプ市況報告

[NBKP] \$ 価格 1,020 前月比 +20

[LBKP] \$ 価格 780~860 前月比 値上がり

(LBKP 値上がり幅はサプライヤーによって異なる)

[市況動向] NBKP、LBKP 共、先月 3 月中旬から漂い始めた中国マーケットにおける軟化傾向の雰囲気は 4 月に入っても変わらない。紙製品価格にパルプ価格上昇分をこれ以上転嫁出来なくなり、止む無く休転を実施する中小ユーザーも出始め、購入は減少傾向となっている。但し、サプライヤーの多くは、依然としてキャリーオーバー分を抱えていることや、底堅い需要が残る欧米向けに向け先を変更する余裕があることなどから、価格を下げ売り急ぐポジションとはなっていない。今後こうしたサプライヤーの状況が崩れた場合、一気に価格が下落する可能性もあるため、引き続きマーケットを注視する必要がある。

〈NBKP〉日本向け 4 月積価格は前月比 \$ 20 アップとなり、1995 年以來の \$ 1,000 台を継続した。中国マーケットでの価格動向を考えると、この 4 月積み価格がピークとなるはずであるが、いつ価格ダウンとなるかが今後の焦点となっている。3 月に顕著な下落傾向を見せた中国における上海先物市場は、現在、アップダウンを繰り返し推移している。おむつや生理用品向けに使用されるフラッフパルプについては、新型コロナウイルスに関連した出生率低下の問題があるものの、現時点ではタイトな状況が続いている。他の主要原料 SAP (高吸収性樹脂) も高騰しており、全体的に原料コストが上昇している。

〈LBKP〉一時 \$300 台まで拡大した NBKP との価格差は \$200 程度に縮まりつつあり、価格差を要因とする代替需要は落ち着いてきた模様。

(2) 上物市況報告

[白板向け] コロナの影響により国内需要は引き続き厳しい状況。一方で中国需要に引きずられて製品輸出が活況になりつつあり、価格は安いが徐々に使用が増加傾向。

[家庭紙向け] 緊急事態宣言の発令により、GOTO 需要が無くなり、業務用ロールの需要が激減。巣ごもり需要も不発でスーパーなどの量販ロ

ールも需要は減退傾向。古紙発生源が顕著だが、生産も非常に悪いため定位でバランス。今後業務用・スーパー関連のどちらも全体的に弱含む可能性あり。また輸入製品の流入が拡大している事も生産を押し下げている要因のひとつ。

[総括] パルプは中国の景気浮揚策と古紙輸入停止の影響で高止まりが続いている。今後コロナの感染状況次第ではあるが、外販パルプの好調が続けば古紙単価にも影響し始める可能性がある。

[製品市況・トピックス] 紙・板紙の 4 月の需給速報は未発表の為、参考に 3 月の需給速報を以下に報告。3 月の紙・板紙国内出荷量は前年同月対比で 1.0% の減 (20 ヶ月連続の減少)。一方、紙・板紙の輸出は前年同月対比 15.4% の増 (15 ヶ月連続の増加)

〈主要品種の国内出荷〉

[新聞用紙] 前年同月比 2.0% (41 ヶ月連続の減少)

[印刷情報用紙] 同 3.6% 減 (20 ヶ月連続の減少)

[衛生用紙] 同 20.3% 減 (2 ヶ月連続の減少)
※トイレット、ティッシュ、タオルペーパーとも減少。

[段ボール原紙] 同 5.9% (4 ヶ月連続の増加)
※輸出は 29.1% 増で 16 ヶ月連続の増加。

[白板紙] 同 2.8% 減 (19 ヶ月連続の減少)
※高板、特板、コート白も減少。

- 研究委員会：「新聞・チラシ重量調査 (6 月度)」の実施協力依頼
- 財務委員会：令和 2 年「裾物三品の季節変動係数」統計結果

次回の三紙会は【6 月については開催未定】とする。活動内容の予定は以下の通り。

- 裾物三品仕入実績報告
- ブロック別仕入平均単価報告
- 各委員会報告



王子齋藤紙業株式会社
足立 進

今年の夏はオリンピックの開催期間となり観戦と言いたいところですが、現時点で何とも言えない感じなので「夏休みにしたいこと」で思い浮かぶのは、数年前から同僚より教えてもら

っているキャンプにまた行ければいいなと思います。しかし昨年同様残念ながら今年も新型コロナウイルスの関係で色々と制限や自粛の世の中となっており、感染リスクを考えるとなかなか出かける事が厳しそうですので、引越し後の整理整頓を行いつつ、引きこもりの夏休みとなりそうです。

省エネペーラー誕生
SW770 HEシリーズ
HIGH SPEED.HIGH PRESSURE
AND ENERGY SAVING

ハイスピードマシンによる20%の省エネを実現
契約電力DOWN!!

消費電力
25%
以上削減!!

ハイパワーマシンによる20%の省エネを実現
消費電力DOWN!!

showa 株式会社 昭 和
本社 〒134-0091 東京都江戸川区船堀2丁目23番21号
<http://www.showa-press.co.jp> 電話 03-3689-0303

WorkVision
Creating Value for The Future

お問い合わせ先
ビジネスソリューション営業第一部
営業担当：神崎 貴徳
TEL：03-4233-0945 FAX：03-5463-1138
*旧社名 東芝ソリューション販売株式会社
2019年7月1日より社名変更となりました。

システムは「所有」から「利用」へ！

**リサイクルシステム
クラウド版リリース**

シンプルで即戦力！ セキュリティと災害に強い！ サーバ購入・管理不要！

二十一世紀の環境を守る。
信頼のパートナー。
古紙用ペーラー番線。

豊かな環境を
ワンダフル21世紀

- ・最良の品質
- ・豊富な在庫
- ・万全なサービス

株式会社 櫻 井
<http://www.kk-sakurai.com/>
〒116-0014 東京都荒川区東日暮里4-13-12
TEL 03-3803-3511
FAX 03-3807-8153

巻数/サイズ	コイル 1巻	コイル 1巻	1+17-1巻	1+17-1巻
φ12 28%	50	100	500	1,000
φ10 32%	50	100	500	1,000
φ8 40%	50	100	500	1,000

ペーラー番線

最良の品質・防錆OK
ートラブル、ロスが少ない
50K・100K・500K・1000K

坂野興業株式会社

東京本社 TEL03-3718-7311 FAX03-3724-8170
浦安営業所 TEL0473-54-6531 FAX0473-51-5201
静岡営業所 TEL054-624-1101 FAX054-624-6704

業界人語



「宜しくお願いします」

(公財)古紙再生促進センター
関東地区委員会 副委員長
レンゴーペーパービジネス株式会社
原料本部 東部営業部長
田中 敏博

昨年10月にレンゴーペーパービジネス(株)東部営業部に着任、着任前はレンゴー東京本社の製紙部門、板紙営業第一部に在籍し、段ボール原紙の販売を行って来ました。当時の主な販売先は、同業の大手広域段ボールメーカー、独立系専業段ボールメーカー、グループの段ボール会社、並びに原紙メーカーを指定するビール、飲料等、食品メーカーを主とするナショナルユーザーになります。ここでも古紙の情報は非常に重要でして、日頃の面談でも古紙の現状、動向に関する情報交換は常時行っていました。特に、価格改定時や翌年の年契交渉時には、古紙価格の変動幅が重要視される為、直近の古紙価格推移を良く調査した上で交渉に臨みましたが、取引先の皆様も古紙の状況に詳しく、こちらが得た間接的な情報では内容の新鮮さが薄れていたりした事もあり、上手く返答出来ず困った事が度々あったのを覚えています。今回、着任したからには積極的に情報収集に努めるぞ、と張り切りた所ですが、コロナ禍で思う様な活動は出来ず、それでも許された範囲内で問屋さんを訪問させて頂き、ヤードを見学させて頂いたり

している中で、今では生の情報を収集出来る事にやりがいを感じています。着任後の毎朝の日課の一つですが、私の机の後ろに広がる古紙置き場の在庫確認です。事務所は八潮工場内にありますが、毎朝工場の古紙置き場を眺めては、潤沢かそうでないかで一喜一憂しています。沢山あると安心ですが、逆に少なくなって来ると心配になり、部員の皆に「大丈夫か?」と声を掛け、それから訪問やWebで面談を行い情報収集に努めています。着任後は担当部員の面談に同席していますが、「前月比」はこれまでは活用した事は無く、聴き慣れない用語でした。前任の段ボール原紙営業での面談では、「前年比」を意識していましたので、最初はしっかり来なくて疑問に感じていましたが、今では携わってみてなるほど、前月当月の在庫バランスの確認は重要、と認識してしまし、「製造物」と「発生物」の違いを理解しようと勉強中です。着任して8ヶ月強経ちましたが、コロナ禍で未だ御挨拶出来ていない御取引先様や、1~2度しかお会い出来ない御取引先様もあります。コロナ禍収束が見えない中、時間だけが経過しておりやや不安な気持ちもありますが、焦らずじっくりと活動して行きたいと考えています。まだまだ学ぶ事だらけですが、古紙ビジネスに熱意をもって取り組みたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

編 集 後 記

ここに来るまでに、常にマスクを着けるようになり、ビデオ会議、テレワークなど、新しい生活をしてきました。ワクチン接種をした人が増えています。新型コロナウイルス禍の生活は、新しい段階に入っています。こ

の段階では、どのような生活になるのでしょうか。簡単にワクチン接種ができて、やがて開発される治療薬を服用できるようになると、マスク無しで大勢あつまり飲食ができるのでしょうか。自由に旅行ができるのでし

ょうか。食べたことのない食材を試すことや旅に出ることはリスクに挑むことです。適度なリスクを伴う人間らしい生活ができることを待ち望んでいます。

(編集人 斎藤大介)

暑中お見舞い申し上げます



令和3年7月 (アイウエオ順)

<p>新井紙材 株式会社</p> <p>代表取締役 新井 重雄</p> <p>東京都港区麻布十番2-7-1 TEL 03-3408-5862</p>	<p>王子浮間古紙センター 株式会社</p> <p>代表取締役 諸 隈 令 介</p> <p>東京都北区浮間5-11-7 TEL 03-3967-6236</p>	<p>株式会社 金子商事</p> <p>代表取締役 金 子 孝</p> <p>埼玉県所沢市南永井767-5 TEL 04-2944-4097</p>
<p>株式会社 新井商店</p> <p>代表取締役会長 新井 勝 夫 代表取締役社長 新井 重 樹</p> <p>東京都台東区根岸5-14-13 TEL 03-3873-9111</p>	<p>王子斎藤紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 諸 隈 令 介</p> <p>東京都新宿区新宿1-34-8 TEL 03-3226-6611(代)</p>	<p>株式会社 木 下</p> <p>代表取締役社長 木 下 一 善</p> <p>神奈川県川崎市幸区戸手4-12-18 TEL 044-544-5611</p>
<p>株式会社 育峯紙業</p> <p>代表取締役社長 毛 塚 孝 男</p> <p>茨城県古河市小堤315-14 TEL 0280-98-2632 FAX 0280-98-2635</p>	<p>株式会社 大久保</p> <p>代表取締役会長 大久保 信 隆 代表取締役社長 大久保 薫</p> <p>東京都荒川区東日暮里1-40-5 TEL 03-3891-1188(代)</p>	<p>株式会社 木場リサイクル</p> <p>代表取締役社長 新井 英 希</p> <p>東京都江東区塩浜2-14-2 TEL 03-5665-8088</p>
<p>市川紙原 株式会社</p> <p>代表取締役社長 栗 原 正 幸</p> <p>千葉県市川市平田1-20-11 TEL 047-322-3301</p>	<p>大村紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 大 村 直 紀</p> <p>埼玉県春日部市新宿新田14 TEL 048-718-0202</p>	<p>株式会社 共益商会</p> <p>代表取締役社長 赤 染 マ リ リ ン</p> <p>東京都品川区南大井6-8-11 TEL 03-3763-9431</p>
<p>株式会社 市川商店</p> <p>代表取締役 市 川 哲 也</p> <p>東京都練馬区早宮3-12-18 TEL 03-3992-6136 FAX 03-3992-6137</p>	<p>株式会社 海 原</p> <p>代表取締役社長 海 原 健 二</p> <p>群馬県館林市新宿1-9-34 TEL 0276-73-0047</p>	<p>株式会社 工藤商店</p> <p>代表取締役社長 工 藤 裕 樹</p> <p>東京都板橋区前野町4-40-18 TEL 03-3965-5101</p>
<p>株式会社 今 井</p> <p>代表取締役社長 今 井 利 明</p> <p>埼玉県さいたま市浦和区 針ヶ谷1-1-14 TEL 048-831-5468</p>	<p>株式会社 梶谷商事</p> <p>代表取締役社長 梶 野 隆 史</p> <p>東京都杉並区堀ノ内3-13-3 TEL 03-3315-4411</p>	<p>栗原紙材 株式会社</p> <p>代表取締役会長 栗 原 正 雄 代表取締役社長 栗 原 護</p> <p>東京都荒川区東日暮里1-27-9 TEL 03-3806-1751</p>
<p>ウブカタ資源 株式会社</p> <p>代表取締役 金 子 真 澄</p> <p>群馬県沼田市屋形原町2113 TEL 0278-22-5555</p>	<p>株式会社 金澤紙業</p> <p>代表取締役社長 金 澤 基 彦</p> <p>神奈川県藤沢市白旗4-2810 TEL 0466-81-0865</p>	<p>株式会社 グリーン</p> <p>代表取締役 齋 藤 浩 二</p> <p>千葉県松戸市紙敷879 TEL 047-391-1588</p>

暑中お見舞い申し上げます



令和3年7月 (アイウエオ順)

<p>株式会社 久米川紙業</p> <p>代表取締役 吉浦高志</p> <p>東京都東村山市廻田町1-18-91 TEL 042-391-4113</p>	<p>有限会社 斉藤宏商店</p> <p>代表取締役 齋藤久雄</p> <p>群馬県高崎市柴崎町1175 TEL 027-352-6633</p>	<p>東京紙業 株式会社</p> <p>代表取締役 赤澤満</p> <p>東京都中央区八丁堀3-5-8 TEL 03-5540-6141</p>
<p>株式会社 小池商店</p> <p>代表取締役 小池茂男</p> <p>東京都新宿区新宿1-20-2 TEL 03-3354-9321(代)</p>	<p>株式会社 佐久間</p> <p>代表取締役社長 佐久間仁宣</p> <p>千葉県四街道市四街道1544-2 TEL 043-420-6501</p>	<p>株式会社 富澤</p> <p>代表取締役社長 富澤進一</p> <p>埼玉県川口市元郷3-21-31 TEL 048-227-3098 FAX 048-226-2044</p>
<p>株式会社 國光</p> <p>代表取締役社長 朝倉行彦</p> <p>東京都台東区東上野1-28-12 TEL 03-5816-7055</p>	<p>三弘紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 上田晴健</p> <p>東京都文京区本郷1-30-17 TEL 03-3816-1171(代)</p>	<p>株式会社 中商ホールディングス</p> <p>代表取締役 中上剛</p> <p>福島県白河市白坂鶴子山66番地1/2F TEL 0248-28-2942</p>
<p>株式会社 近藤商店</p> <p>代表取締役社長 近藤國宏</p> <p>東京都台東区元浅草4-1-3 TEL 03-3843-3866 FAX 03-3843-3867</p>	<p>株式会社 下田商店</p> <p>代表取締役会長 土方十四江 代表取締役社長 土方道明</p> <p>東京都日野市万願寺2-35-6 TEL 042-583-0753</p>	<p>株式会社 中田</p> <p>代表取締役社長 中田敏夫</p> <p>東京都渋谷区恵比寿西2-6-6 TEL 03-3461-5910</p>
<p>株式会社 齋藤英次商店</p> <p>代表取締役 齋藤大介</p> <p>千葉県柏市柏6-1-1 TEL 04-7186-6701</p>	<p>株式会社 須賀</p> <p>代表取締役 須賀清文</p> <p>東京都荒川区東日暮里2-28-11 TEL 03-3891-6224</p>	<p>永田紙業 株式会社</p> <p>取締役会長 永田博太郎 取締役社長 永田耕太郎</p> <p>埼玉県深谷市長在家198 TEL 048-583-2141</p>
<p>株式会社 斉藤久七商店</p> <p>代表取締役 斉藤岳二</p> <p>東京都荒川区東日暮里4-14-2 TEL 03-3806-2897</p>	<p>株式会社 タンザワ</p> <p>代表取締役 中村幸司</p> <p>神奈川県秦野市曾屋357 TEL 0463-81-1010</p>	<p>株式会社 ナコジ</p> <p>代表取締役社長 辻昭彦</p> <p>東京都千代田区神田錦町3-13-7 TEL 03-5280-3710</p>
<p>株式会社 齋藤商店</p> <p>代表取締役社長 齋藤米藏</p> <p>東京都千代田区神田神保町1-46 TEL 03-3293-7701(代)</p>	<p>株式会社 坪野谷紙業</p> <p>代表取締役 坪野谷悟輝</p> <p>栃木県下野市柴1-4 TEL 0285-44-5005</p>	<p>有限会社 根本商店</p> <p>代表取締役 根本祐一</p> <p>日立市平和町1-4-11 TEL 0294-21-2068</p>

暑中お見舞い申し上げます



令和3年7月 (アイウエオ順)

<p>株式会社 平松商店</p> <p>代表取締役 平松 邦明</p> <p>東京都渋谷区幡ヶ谷2-42-5 TEL 03-3378-5631</p>	<p>松岡紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 佐藤 元彦</p> <p>静岡県富士市蓼原110 TEL 0545-63-1212</p>	<p>むさし野紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 安立 博信</p> <p>埼玉県川越市大字下広谷404-1 TEL 049-239-3456</p>
<p>株式会社 藤川紙業</p> <p>代表取締役 藤川 達郎</p> <p>東京都荒川区西日暮里2-32-20 TEL 03-3807-9347</p>	<p>株式会社 丸栄商店</p> <p>代表取締役 金井 篤史</p> <p>茨城県古河市尾崎11-2 TEL 0280-76-2690</p>	<p>株式会社 村松紙業</p> <p>代表取締役 村松 修</p> <p>神奈川県横須賀市舟倉2-2-8 TEL 046-835-8562</p>
<p>株式会社 ブシュー</p> <p>代表取締役 近藤 豊</p> <p>埼玉県新座市野火止1-13-41 TEL 048-479-7578</p>	<p>株式会社 丸興佐野錦一商店</p> <p>代表取締役会長 佐野 一 代表取締役社長 相田 寛文</p> <p>静岡県富士市五貫島546 TEL 0545-65-6277</p>	<p>森田紙業 株式会社</p> <p>代表取締役社長 森田 臣</p> <p>東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎2113 TEL 042-557-0864</p>
<p>株式会社 二見</p> <p>代表取締役社長 須長 勇太</p> <p>神奈川県小田原市中町3-13-22 TEL 0465-23-3125</p>	<p>株式会社 丸十商店</p> <p>代表取締役 高橋 德行</p> <p>東京都足立区本木2-10-1 TEL 03-3849-7201</p>	<p>株式会社 山 博</p> <p>代表取締役 山室 新太郎</p> <p>東京都台東区元浅草3-8-4 TEL 03-3845-2828</p>
<p>株式会社 北越マテリアル</p> <p>代表取締役 大矢 秀樹</p> <p>千葉県市川市塩浜3-14-1 TEL 047-397-3115</p>	<p>株式会社 水 越</p> <p>代表取締役 水越 謙太郎</p> <p>〒316-0036 茨城県日立市鮎川町2-1-35 TEL 0294-36-2545 FAX 0294-35-8121 http://www.mizukoshi-re.co.jp/</p>	<p>株式会社 山 室</p> <p>代表取締役社長 畑 純一</p> <p>東京都台東区元浅草2-2-15 TEL 03-3844-8191</p>
<p>株式会社 もっかいトラスト</p> <p>代表取締役社長 長谷川 裕一</p> <p>埼玉県春日部市南栄町15-9 TEL 048-754-6298</p>	<p>皆川商事 株式会社</p> <p>代表取締役社長 皆川 三彦</p> <p>東京都板橋区舟渡1-9-11 TEL 03-3968-2427</p>	<p>株式会社 和 光</p> <p>代表取締役 齋藤 秀樹</p> <p>東京都渋谷区幡ヶ谷3-48-7 TEL 03-3377-3714</p>
<p>株式会社 増田商店</p> <p>代表取締役 増田 唯之 専務取締役 増田 悦宏</p> <p>東京都葛飾区立石2-23-17 TEL 03-3694-8824</p>	<p>美濃紙業 株式会社</p> <p>代表取締役会長 近藤 勝 代表取締役社長 近藤 行輝</p> <p>東京都足立区千住東2-23-3 TEL 03-3882-4922</p>	

全国小中学生 “紙リサイクル”コンテスト2021

募集対象

全国の小学生・中学生ならどなたでも

テーマ

紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア

紙リサイクルについて

“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、使い終わった段ボール、紙パックを回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。

募集部門 ※4部門で応募します

①作文小学生部門 ②作文中学生部門

原稿用紙400字詰3枚(1,200字)以内 ※手書きに限る。

③ポスター小学生部門 ④ポスター中学生部門

四つ切(39.5cm×54.5cm)以内、絵の具・パステルなど画材は自由。立体は不可。(古紙などを使用した貼り絵、切り絵の表現は可とする。)
※裏面にポスターの意図を記入すること。

※共同制作は審査の対象外になります。

※1人で複数の作品に応募する場合は、「作品名」で違いを明確にしてください。

紙製容器包装識別マークは
本コンテストの作品には使用しないでください。



このマークはプラスチックなどと複合した紙箱や包装紙などにもついており、紙から紙へのリサイクルができず、固形燃料などに使われるものもあるため、本コンテストでは使わないマークにします。
このマークを使った作品は、審査の対象外になります。

応募方法

学校を通じて応募、あるいはご家庭から応募(個人応募)してください。
作品1点ごとに①作品名、②氏名、③学校名・学年など必要事項を記入した応募票をのりやホチキスで添付してください。

- ・学校でまとめて送る場合は、封筒に①応募部門名、②応募点数を朱書きする。
- ・個人応募の場合は、①住所、②電話番号、③FAX番号をわかるように記入し、同封してください。

《応募作品の取り扱い》

応募作品の著作権は主催者に帰属し、主催者は作者の了解の下に、発表する権利を有します。
応募作品は原作をお送りください。
なお応募作品は返却できませんので、必要な場合はコピーをお手元に残してください。

個人情報保護について

●本コンテストの個人情報は、主催者が「全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト」事務局に委託を行い取得いたします。●応募者の個人情報は応募に関する結果連絡、主催者ホームページ等での入賞発表、記念品の発送などに利用させていただきます。●コンテストについてメディア等から取材・問い合わせがあった場合、応募作品の画像データ等を提供する場合がございます。また、表彰式の写真並びに受賞者様の氏名、学校名・学校の所在地道府県名、学年を提供させて頂くことがあります。●個人情報は、法律に基づく命令などを除いて、上記以外の利用、提供はしません。

締切

2021年12月10日(金)当日消印有効

審査

審査会を設置し、厳正に審査します。

発表

2022年2月上旬以降、入賞者本人と学校に通知するほか、主催者ホームページ上に掲載します。

表彰

2022年3月上旬頃、文部科学大臣賞・金賞・特別金賞受賞者など、入賞者、学校賞受賞校に表彰させていただきます。

賞と賞品

文部科学大臣賞(最優秀作品2点)(賞状・楯・副賞図書カード5万円)

作文部門 1点 } (小学生・中学生あわせて各1点)
ポスター部門1点 }

金賞(優秀作品4点)(賞状・楯・副賞図書カード3万円)

①作文小学生部門 ②作文中学生部門
③ポスター小学生部門 ④ポスター中学生部門

特別金賞(優秀作品3点)(賞状・楯・副賞図書カード3万円)

全国製紙原料商工組合連合会 金賞
日本再生資源事業協同組合連合会 金賞
段ボールリサイクル協議会 金賞

銀賞(4点)(賞状・楯・副賞図書カード1万円)

①作文小学生部門 ②作文中学生部門
③ポスター小学生部門 ④ポスター中学生部門

銅賞(12点)(賞状・副賞図書カード2千円)

学校特別賞(2校以内)(賞状・副賞ギフトカード5万円)

これまでの応募状況等から総合的に評価

学校奨励賞(2校)(賞状・副賞ギフトカード2万円)

応募作品の最も多い小中学校 各1校

参加賞

応募者全員に「紙リサイクルノート」を差し上げます

応募・お問い合わせ先 (どんなことでもお問い合わせください)

【全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2021】事務局(CISC内)

〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-4 浜松町昭栄ビル4F
TEL.03(5777)1322/FAX.03(3432)4044

ホームページでは、
・古紙のこと
・紙リサイクルの仕組み
・紙リサイクルアニメ
・はがきづくりなど
作品づくりのヒントになるキッズコーナーがあります。
保護者の方もご覧いただき、ぜひ家庭でも
取り組んでみましょう!



全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2021 応募票

作品名				該当する項目に○をつけてください		
氏名	(ふりがな)	学年	年	応募部門	1 作文 小学生	団体応募
学校名・教室名	担当先生名				2 作文 中学生	
					3 ポスター 小学生	個人応募 ※
				4 ポスター 中学生		

全て記入して、各作品の裏に必ず貼り付けてください。

※個人応募の方は①住所、②電話番号、③FAX番号をわかるように記入し、同封してください。

※応募票が複数必要な場合は、公益財団法人古紙再生促進センターのホームページよりダウンロードできます。 <http://www.prpc.or.jp/>

“紙リサイクル” 全国小中学生 コンテスト2021

応募者全員に
参加賞
紙リサイクルノート
プレゼント！



文部科学大臣賞 学校特別賞 学校奨励賞 が設けられています！



テーマ 紙リサイクルに関する活動・体験やアイデア

例えば…

みんなが紙リサイクルに協力してくれるようにするには、こうしたらどうかな。

学校や地域の人と協力して、紙リサイクルの輪を広げよう！

紙リサイクルを続けるコツを見つけました。

捨てればゴミ、リサイクルすれば立派な紙製品に生まれ変わる！

わが家では使い終わった紙を捨てないように、こんな工夫をしています。

紙リサイクルについて

“紙リサイクル”とは、読み終わった新聞や雑誌、使い終わった段ボール、紙パックを回収し、資源に戻して新たな紙の原料に利用することです。



！ 「リデュース」と「リユース」は当コンテストでは取り上げないため、審査の対象外になります。

Reduce
リデュース
なるべくごみを出さないこと
ごみを少なくする

Recycle
リサイクル
再資源化

使い終わったものを資源に戻して利用する。

Reuse
リユース
再使用
捨てずに繰り返し使うこと

締切

2021年12月10日(金) (当日消印有効)

募集対象

全国の小学生・中学生ならどなたでも

募集部門

※4部門で応募します

- ① 作文小学生部門
- ② 作文中学生部門
(原稿用紙400字詰3枚(1,200字)以内)
※手書きに限る。
- ③ ポスター小学生部門
- ④ ポスター中学生部門
(四つ切以内、絵の具・パステルなど画材は自由)
※裏面にポスターの意図を記入すること。

紙リサイクルについて調べてみよう！
お家でもやってみてね！



お問い合わせ先

〒105-0013 東京都港区浜松町1-23-4 浜松町昭栄ビル4F
『全国小中学生“紙リサイクル”コンテスト2021』事務局 (CISC内)
TEL. 03 (5777) 1322 / FAX. 03 (3432) 4044

過去の受賞作品や応募の手引きなど、古紙再生促進センターのホームページで公開中！

紙リサイクルコンテスト

検索



http://www.prpc.or.jp/activities/public_relations/?id=contest#contest

◀ 紙リサイクル促進大使「カミリィ」ちゃんと「カミリママ」

【主催】 公益財団法人古紙再生促進センター

【後援】 文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国市町村教育委員会連合会 全国小中学校環境教育研究会

読売新聞社 全国製紙原料商工組合連合会 日本再生資源事業協同組合連合会 段ボールリサイクル協議会 日本製紙連合会

詳しくは裏面をご覧ください。